

17p-D9-13

クロージング「結晶シリコン太陽電池の今後の展望」

Closing remarks “future trend of crystalline Si photovoltaic”

明治大学 理工学部 小椋 厚志

Meiji University Atsushi Ogura

E-mail: a_oguura@isc.meiji.ac.jp

本シンポジウムは、大要以下の招待講演と 4 件の投稿論文で構成されている。

「結晶シリコン太陽電池技術の現状と課題」豊田工大 大下 祥雄先生

「太陽電池用シリコン原料の現状」エルケム・ジャパン 伊達 裕幸様

「太陽電池用シリコン結晶の現状と将来」九州大 柿本 浩一先生

「Cat-CVD法による最大表面再結合速度2cm/s以下の透明パシベーション膜低温形成」

北陸先端大 松村 英樹先生

「結晶シリコン太陽電池における厚膜電極形成に関して」ナミックス 高橋 哲様

「高品質ワイドギャップヘテロエミッタの現状と課題」東工大 宮島 晋介先生

「Cu電極高効率ヘテロ接合シリコン太陽電池」カネカ 足立 大輔様

「セル変換効率25%に向けた単結晶Siヘテロ接合バックコンタクトセルの開発」

シャープ 中村 淳一様

クロージング「結晶シリコン太陽電池の今後の展望」明治大 小椋

本講演では、上記シンポジウムの概要をまとめ、太陽光発電の主流である結晶シリコン太陽電池において、我が国が産業および学術分野の双方で、主導的立場で世界に貢献するための条件について考察する。